

1 富山らしい魅力創出

(1) 地域資源の発掘と観光資源のブラッシュアップ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
歴史と文化が薫るまちづくりモデル支援事業 (56,110 千円)	<p>歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、推進計画の策定や同計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい湯・いい人・いい宇奈月（ところ）（黒部市） ・土を育む陶（すえ）と農（みのり）のくらし（立山町） ・木槌の音響き、俳聖・松尾芭蕉と文人・池波正太郎がゆるりと歩く井波まちなみ（南砺市）ほか 10 件 	地域振興課
水辺のまちづくり推進事業 (6,600 千円)	<p>「水の王国とやま」の豊かな水資源を活かした、水辺のまちづくりに取り組む市町村・市民活動を支援し、地域の新たな魅力の創出、観光振興、地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千保川親水・楽水プロジェクト事業（高岡市） ・庄方用水沿い桜並木整備事業（高岡市） ・魚津の水循環事業（魚津市） <p style="text-align: right;">ほか 3 件</p>	地域振興課
ふるさと資源パワーアップ事業 (2,927 千円)	<p>北陸新幹線の開業を見据え、地域住民が地域資源を活用し、主体的に取り組む活動等を支援し、地域の新たな魅力の創出、観光振興、地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡食のブランド推進事業 ほか 4 件 	地域振興課
プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500 千円)	<p>プロスポーツチームの運営会社が取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績 3 団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施 県外の試合会場での富山県特産品・観光PR 商店街等におけるポスター、のぼり等の掲出など 	地域振興課
「明日のとやまブランド」育成支援事業 (3,550 千円)	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 品目 5 事業者を新たに選定 	地域振興課

<p>環水公園等賑わ い空間創出事業 (33,680 千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業を見据え、環水公園を軸とした富山 駅北周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏、冬の花火大会等の四季折々のイベントの開催 ・来園者等へのニーズ調査やウェブによる情報発信 	<p>観光課</p>
<p>富岩水上ライン 利用促進事業 (2,963 千円)</p>	<p>県都富山の新たな魅力の創造と地域活性化のために 実施する富岩水上ラインについて、新幹線の開業をにら み、利便性の向上やPRにより、その利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット・ポスター作成 ・3周年記念イベントの開催 など 	<p>観光課</p>
<p>学習支援船の運 航 (5,000 千円)</p>	<p>富岩運河の新たな水面利用である学習支援船（富岩水 上ライン）の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習 を促進するとともに、運河の賑わい創出や活力ある地域 づくりの促進を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>観光地活性化モ デル事業 (3,000 千円)</p>	<p>宇奈月温泉地域の関係者で構成する「黒部市観光事業 活性化委員会」が実施する観光地活性化のためのモデル 的な取組みを支援し、宇奈月温泉を活用した滞在型観光 の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 黒部市観光事業活性化委員会 ・主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月の開催 温泉街将来指針づくり事業 じゃらん連携観光PR事業 など 	<p>観光課</p>
<p>観光地区開発事 業費 (1,813 千円)</p>	<p>世界文化遺産に指定されており、本県の貴重な観光資 源である五箇山地区の合掌造り家屋の茅屋根葺き替え 等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・ 整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 2件 	<p>観光課</p>
<p>立山登山・トレ ッキングガイド モデル事業 (15,033 千円)</p>	<p>立山室堂ターミナル内に設置した観光案内所におし ゃれな登山スタイルのガイドを配置し、立山での楽しみ 方や富山県内の周遊・宿泊の案内を行った。併せて、イ ンターネットや旅行雑誌等でこれらの魅力を発信した。</p>	<p>観光課</p>
<p>「美味しい富 山」誘客促進事 業 (14,994 千円)</p>	<p>「天然の生け簀 富山湾」の豊富な海の幸を堪能でき る「富山湾鮎」キャンペーンを展開し、「食」による通 年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの情報発信 ・富山湾鮎紹介パンフレットの作成 ・旅行予約サイトでのPR 	<p>観光課</p>

まちな逸品ブラッシュアップ事業 (15,636 千円)	専門家によるアドバイス支援や、デザインセンターによる試作品開発など、女性が好むお土産づくりのためのブラッシュアップを実施した。(15 品目 21 商品)	商業まちづくり課
まちな逸品チャレンジ支援事業 (4,032 千円)	まちな逸品ブラッシュアップ事業で一定の評価を受けた事業者を対象にアドバイザーの派遣や女性ニーズ調査アンケートを実施し、県内のお土産商品力のアップを図った。	商業まちづくり課
内山邸文化の魅力再生事業 (13,973 千円)	平成 10 年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、保存修繕を行うとともに、利用促進のための魅力発信事業を実施した。 ・明治 31 年に内山家 12 代松世が建てた土蔵造りの文庫である柳原文庫の復元工事及び設計監理着手 ・観桜の会、観月の会、文学展の開催、梅園茶会	文化振興課
地域文化力向上・活性化支援事業 (4,500 千円)	県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。 ・補助件数 7 件	文化振興課
立山博物館管理運営費 (184,447 千円)	立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、2 回の企画展の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。 ・立山博物館収蔵・展示施設新築工事	文化振興課
近代美術館管理運営費 (187,692 千円)	20 世紀初頭から現在にいたる美術の流れを、世界・日本・富山の 3 つの視点から展望する近代美術館において、常設展や企画展 (5 回) の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
水墨美術館管理運営費 (146,616 千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展 (6 回) の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
高志の国文学館管理運営費 (326,677 千円)	県民のみならず県外からの観光客にとって、富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館を開館し、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施した。 ・高志の国文学館開館記念式典、開館記念イベントの開催 ・開館記念企画展 (3 回) ・ふるさと文学県民講座等の開催 (12 回)	文化振興課

<p>「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (6,823 千円)</p>	<p>越中富山を舞台として活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内イベント会場等での P R の実施 ・ 雑誌やラジオとタイアップした P R の推進 ・ 倶利伽羅峠など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	<p>知事政策局</p>
<p>世界遺産登録推進事業 (4,500 千円)</p>	<p>「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録に向け、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識の醸成と観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種啓発活動やフォーラム、講演会、現地見学会の開催等 	<p>知事政策局</p>
<p>水博物館構想事業 (7,739 千円)</p>	<p>新川地域に存在する黒部川等の豊かな自然資源を多くの人たちを魅了する展示物として位置付け、フィールドミュージアム活動を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 フィールドツアー、フィールドミュージアム資源の調査研究及び資料収集活動 など 	<p>県民生活課</p>
<p>イタイイタイ病資料館管理運営事業 (47,688 千円)</p>	<p>平成 24 年 4 月に「県立イタイイタイ病資料館」を開館し、イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、施設展示や情報発信を通じて、その教訓等を後世に継承するための事業を実施した。</p>	<p>健康課</p>
<p>富山くすりフェア開催事業 (2,000 千円)</p>	<p>全国からの高校生が集まる第 36 回全国高等学校総合文化祭に合わせて、富山駅南 C i C ビル前の特設会場に「富山のくすり」に関する展示・体験コーナーを設置して、「くすりの富山」の魅力を発信した。</p>	<p>くすり政策課</p>
<p>うるおいある景観づくり推進事業費 (12,773 千円)</p>	<p>県、市町村、県民、事業者の連携と協力により、観光振興にもつながる優れた景観づくりのための施策を推進し、地域の特性を活かした優れた景観の保全及び創造を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさとの眺望景観を守り育てる県民協働事業の実施 ふるさと眺望点をめぐるスタンプラリー、パノラマブック及びポストカードの作成 等 ・ 景観づくり支援事業の実施 景観アドバイザーの派遣 等 ・ 景観づくりフォーラム 2012 の開催 ・ うるおい環境とやま賞の表彰 など 	<p>建築住宅課</p>

<p>立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (125,213 千円)</p>	<p>立山カルデラの自然・歴史や、100 余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。</p> <p>博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について深く理解できる体験学習会（4 種類のコースで 35 回、1,139 人参加）を実施し、県内外の参加者に P R を行った。</p> <p>また、博物館の調査研究によって確認された日本初の「氷河」について企画展を開催するなど、新たな魅力の情報発信に努めた。</p>	<p>砂防課</p>
<p>海王丸保存活用事業 (49,425 千円)</p>	<p>文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室、カッター・セイリング教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。</p>	<p>港湾課</p>
<p>松川べり水辺のまちづくり事業 (160,633 千円)</p>	<p>「高志の国文学館」の整備にあわせて、松川べり遊歩道を文学館や城址公園（郷土博物館、佐藤記念美術館）など富山の歴史と文化の集積する地域にふさわしい遊歩道として整備するため、塩倉橋から松川橋区間において舗装と植栽を行った。</p>	<p>河川課</p>

(2) 食のブランド化と高付加価値化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「とやま食の匠」の認定・普及 (752 千円)	富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。 ・新規認定 11 個人・団体 (計 165 個人・団体) ・講師派遣 49 回	農産食品課
「とやま食の街道」づくり (931 千円)	「富山ならではの」の食材や独自の食文化の魅力を深く体験できるスポットを巡る 3 種類の周遊ルートを「とやま食の街道」(昆布街道、きときと街道、里山料理街道)として全国に発信した。あわせて、街道の各施設において「食の語り部」による歴史・文化、料理等の説話を実施した。 ・113 施設 (語り部は、112 名) ・クーポン付パンフレットを中京圏公共施設等に配布	農産食品課
首都圏等での食のブランド力の強化 (20,509 千円)	大消費地の首都圏等において食のイベントを開催し、富山の食の魅力を県外にアピールした。 ・東京アンテナショップにおける PR 販売 (4 回) ・「富山の発酵 丸の内トリート」(東京)、「越中とやまうまいもんフェア」(名古屋) の開催	農産食品課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (10,000 千円)	「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールした。 ・秋の陣 (富山産業展示館、平成 24 年 11 月 3 日～4 日) 県内外から 34,000 人が来場 ・冬の陣 (氷見市内、平成 25 年 1 月 19 日～20 日) 県内外から 1,800 人が参加 「越中料理と地酒を楽しむ会」には東京・中京から 80 名の団体観光客を誘致	農産食品課
ふるさと認証食品 (E マーク) 制度の普及 (708 千円)	県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品 (E マーク)」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。 ・30 商品を新規に認証、延べ 316 商品	農産食品課

<p>特産品アドバイザーの派遣 (516千円)</p>	<p>生産者が取り組む特産品の開発等に対し、「富山県特産品アドバイザー」を派遣して専門家による指導・助言を行い、特産品づくりを総合的にサポートした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー10名、支援対象回数18回 	<p>農産食品課</p>
<p>地産地消の推進 (9,550千円)</p>	<p>ポイント制度の実施や交流フェアの開催など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやまの旬」応援団の募集(2,942名)と活動支援 ・地産地消県民交流フェアの開催 (直売やシンポジウムなどに約7千人が参加) ・県産品購入ポイント制度の実施 (約1万4千件の応募) 	<p>農産食品課</p>
<p>富山米のブランド力向上 (12,240千円)</p>	<p>首都圏等での販売促進キャンペーンや「とやま米ファンクラブ」による口コミPRなどにより、富山米のブランド力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山うん米フェアの開催 (平成24年11月14日～27日) 高島屋新宿店、東京ステーションホテル ・とやま米ファンクラブ(1,025名) 	<p>農産食品課</p>
<p>「うまさ一番 富山のさかな」キャンペーン事業 (40,332千円)</p>	<p>県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集 ・ホームページやブログを活用した情報発信 ・富山のさかなを紹介するパンフレットやのぼり等の作成、配布 ・「富山のさかな キトキトフェア」の開催 (平成25年1月16日) ザ・キャピトルホテル東急(東京)) ・首都圏メディアの取材誘致 等 	<p>水産漁港課</p>
<p>「我が浜のさかな」魅力発信事業 (656千円)</p>	<p>県内の各漁協が推進する「漁協発ブランド魚」の地域内外への周知や消費拡大を図るためのPR及び販路開拓を支援し、ブランド化を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 2件 	<p>水産漁港課</p>

<p>「越中料理」推進事業 (6,055 千円)</p>	<p>新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実 ・タペストリーの作成、越中料理提供店への配付 ・首都圏で、有名シェフが考案した県産食材をふんだんに使った新たな創作料理を、記者発表を目的とした「発表会」と富山県ゆかりの方を招いた「美食会」を通じてPR 	<p>地域振興課</p>
<p>「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (14,313 千円)</p>	<p>平成 22 年度に認定した「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定品の魅力を紹介するメディアの取材経費を助成 ・富山空港でのコルトン広告及び展示ブースの設置によるPR ・「とやまブランド」スタートアップフォーラムの開催（平成 24 年 8 月 31 日 富山国際会議場） 	<p>地域振興課</p>
<p>「明日のとやまブランド」育成支援事業（再掲） (3,550 千円)</p>	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 品目 5 事業者を新たに選定 	<p>地域振興課</p>
<p>とやまブランド全国発信支援事業 (1,000 千円)</p>	<p>業界の枠を超えた複数の業種等で構成された民間グループが実施する、商品等の認知度向上及び富山の地域イメージ確立を図るイベントの開催を支援し、とやまブランドの全国ブランド化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山の酒とかまぼこフェア 日時 平成 24 年 10 月 14 日 場所 東京交通会館 	<p>地域振興課</p>
<p>「美味しい富山」誘客促進事業（再掲） (14,994 千円)</p>	<p>「天然の生け簀 富山湾」の豊富な海の幸を堪能できる「富山湾鮎」キャンペーンを展開し、「食」による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットでの情報発信 ・ 富山湾鮎紹介パンフレットの作成 ・ 旅行予約サイトでのPR 	<p>観光課</p>

<p>観光圏推進事業 (1,497 千円)</p>	<p>「富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏」が開催する食のイベントを支援し、県内外に新川地区の食の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にいかわ伝統芸能と食の祭典」への支援（平成 24 年 8 月 4 日 魚津市） 	<p>観光課</p>
-------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

(3) 個人観光客の多様なニーズに合わせた観光商品の開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「富山で修学旅行！」誘致事業 (6,510 千円)	県外からの修学旅行を誘致するため、旅行会社への出向宣伝や招聘事業などを行った。	観光課
産業観光魅力創出促進事業 (2,165 千円)	産業観光に取り組む県内企業の受入体制整備を促進し、産業観光の魅力アップを図るため、県内企業が行う受入体制整備に対する所要経費の一部を助成した。 ・補助件数 6 件	観光課
富山まるごと旅行商品化プロジェクト業務 (27,999 千円)	戦略的な誘客活動の一環として、地域の観光資源を魅力ある観光商品とするためのブラッシュアップ及び旅行会社への効果的な販売プロモーションによる富山旅行の商品化を行った。	観光課
ガイドツアー商品化モデル事業 (2,718 千円)	富山ならではの体験ができる滞在型・体験型の旅行ニーズの増加に応えるため、県内旅行会社に着地型ガイドツアーの企画及び随時催行を試行してもらい、その検証を行った。	観光課
地域発観光サービス充実支援事業 (1,775 千円)	観光客の消費額、滞在時間の増加を図り、多様な個人ニーズに対応した、地元事業者による魅力的な滞在・体験型の観光商品・サービスの企画・開発を支援した。 ・補助件数 6 件	観光課
越中富山お土産プロジェクト事業 (14,057 千円)	デザインを切り口として統一感を持たせた富山らしい魅力あるお土産商品群づくりを行う「越中富山お土産プロジェクト」の新商品の開発や販路開拓、PRを実施した。 ・ブランド名「越中富山 幸のこわけ」 ・商品数 19 企業 22 商品	商工企画課
まち歩きモデルコース設定事業 (12,047 千円)	駅周辺と商店街の回遊性の向上を図るため、電車まちの 1～2 時間でお店を巡りながら中心商店街を楽しむことのできるコースやメニューを設定した。(3 市 7 コース)	商業まちづくり課

<p>とやま中小企業 チャレンジファ ンドの設置 (3,000,000 千円)</p>	<p>本県中小企業における新技術や新商品の開発とその実用化に向けた積極的な取組みを支援するため、県内金融機関と連携し、(財) 富山県新世紀産業機構にファンドを造成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置時期 平成 24 年 12 月 19 日 	<p>経営支援課</p>
<p>とやま新事業創 造基金 地域資 源ファンド事業 (97,863 千円)</p>	<p>中小企業者が取り組む、富山ならではの地域資源（産地の技術、農林水産物、観光資源）を活用した新商品開発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力ある特産品の開発・普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施件数 23 件 	<p>経営支援課</p>
<p>とやま新事業創 造基金 農商工 連携ファンド事 業 (26,183 千円)</p>	<p>中小企業者と農林漁業者とが連携して行う新商品開発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力ある特産品の開発・普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施件数 7 件 	<p>経営支援課</p>
<p>農商工等連携支 援事業（地域資 源活用・農商工 連携商品 P R 事 業） (1,508 千円)</p>	<p>東京のアンテナショップや県内で地域資源活用や農商工連携による新商品等の展示・試食会等を開催し、本県の新たな特産品の普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 4 回（東京 2 回、県内 2 回） 	<p>経営支援課</p>
<p>世界的舞台芸術 拠点づくり推進 費 (91,150 千円)</p>	<p>「舞台芸術特区 TOGA」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界演劇祭「利賀サマー・シーズン 2012」の開催 ・ 国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育 	<p>文化振興課</p>
<p>とやま帰農塾推 進事業 (4,765 千円)</p>	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、講座として農林業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流人口の拡大、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とやま帰農塾の開講（6 市町 9 ヶ所 全 10 講座） ・ 三大都市圏等への P R 	<p>農村振興課</p>

<p>とやま夏期大学の開催 (4,000 千円)</p>	<p>富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成 24 年 7 月 27 日～30 日 ・開催地 立山国際ホテル 	<p>地域振興課</p>
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------

(4) 県内周遊の促進、近隣県を含む広域ルートの開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山県・岐阜県 連携広域観光事業 (1,000 千円)	東海北陸自動車道を活用した広域観光による富山への誘客を促進するため、岐阜県と連携した共同広告を実施した。 ・旅行雑誌への広告掲出及び協賛 (雑誌 10 万部・フリーペーパー 1 万部)	観光課
観光圏推進事業 (一部再掲) (3,002 千円)	県内の観光圏が実施する事業を支援し、周遊・滞在型観光の促進を図った。 【富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏】 ・「にいかわ伝統芸能と食の祭典」への支援（平成 24 年 8 月 3 日 魚津市） 【越中・飛騨観光圏】 ・圏域内連泊促進事業・越中飛騨春祭事業（NEXCO と連携）への支援	観光課
「親子で触れ合い ぶり・ノーベル街道再発見 ウォーク」負担金 (1,000 千円)	ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道 41 号の沿線をウォークし、各地域の魅力を発見してもらう「ノーベル街道体験ウォークツアー 2012」を支援し、ノーベル街道観光の振興を図った。 ・平成 24 年 6 月 17 日（富山市中心市街地） ・平成 24 年 10 月 7 日（富山市笹津地区） ・平成 24 年 10 月 21 日（岐阜県神岡地区）	観光課
北陸三県誘客促進 連携協議会負担金 (3,000 千円)	北陸新幹線の開業を見据え、北陸三県及び J R と連携して北陸観光キャンペーン事業を展開し、北陸地域における広域観光の促進を図った。 ・ J R 3 社キャンペーンの実施 ・観光素材説明会の開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行など	観光課
北陸広域観光推進 協議会負担金 (2,500 千円)	北陸への観光誘客の増大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟からなる協議会を組織し、共同での観光 P R など観光情報の発信を行った。 ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光課

<p>中部広域観光推進協議会負担金 (3,000 千円)</p>	<p>中部北陸 9 県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源の P R 等を行い、広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベルミッション（北京・広州）への参加 ・J A T A 旅博 2012 への出展 ・国際観光振興事業の展開 など 	<p>観光課</p>
<p>飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (100 千円)</p>	<p>飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源の P R 等を行い、広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行雑誌での P R ・ロードマップの作成 など 	<p>観光課</p>
<p>立山黒部観光宣伝協議会負担金 (2,500 千円)</p>	<p>富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・三大都市圏における P R 等の宣伝活動 など 	<p>観光課</p>
<p>立山黒部アルペンルート除雪事業 (11,000 千円)</p>	<p>本県の代表的な観光地であり、長野県との広域観光にも大きな役割を果たす立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。</p>	<p>観光課</p>
<p>立山氷河・ラムサール条約湿地体験ツアー調査事業 (807 千円)</p>	<p>立山連峰の「氷河」とラムサール条約湿地に登録された「立山弥陀ヶ原・大日平」を観光誘客に活用するため、観光ニーズや販売にあたっての課題を調査・整理した。</p>	<p>観光課</p>
<p>「富山の港町と海の幸」魅力発信事業 (16,000 千円)</p>	<p>「漁港」を切り口として、セリ見学、漁港周辺にある魚販売施設や地魚の食べ処、周辺観光スポットの紹介など、富山のさかなや富山湾に関する一体的な観光 P R 誌を作成し、県内外への P R を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 60,000 部 ・仕様 A4 判 16 ページ、フルカラー ・内容 富山湾漁港ガイド 漁港周辺の紹介（氷見漁港など 8 漁港） 厳選グルメ漁港みやげ など ・配布先 県内 観光協会、ホテル、旅館等、駅、レンタカー会社、高速道路 S A、道の駅等 県外 県事務所（東京、大阪、名古屋）、アンテナショップ「いきいき富山館」、首都圏、中京圏の J T B 窓口 	<p>水産漁港課</p>

<p>富山空港利用促進事業 (3,359 千円)</p>	<p>富山空港を利用して来県する団体旅行者の国内移動のためのバスを運行する県内バス会社に対して助成し、富山空港を利用した広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 国際線 76 件 (78 台) 	<p>総合交通政策室</p>
<p>サイクリングロード利用促進事業 (886 千円)</p>	<p>県内のサイクリングコースを、周辺の観光地と併せて紹介する「とやまサイクリングMAP」を作成し、自転車利用の増進や観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に道の駅、コース主要地点に配布。 ・作成部数 日本語版 2,500 部 英語版 2,500 部 中国語繁体字版 5,000 部 	<p>道路課</p>
<p>環日本海クルーズ推進協議会負担金 (1,000 千円)</p>	<p>小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港の港湾管理者及び港湾所在市により「環日本海クルーズ推進協議会」を設立し、環日本海クルーズの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同パンフレットの作成 ・クルーズ見本市への共同出展（上海、マイアミ）等 	<p>港湾課</p>

(5) 冬季の魅力創出と通年観光

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>「うまさ一番 富山のさかな」 キャンペーン事業 (再掲) (40,332 千円)</p>	<p>県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開するとともに食による通年観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集 ・ホームページやブログを活用した情報発信 ・富山のさかなを紹介するパンフレットやのぼり等の作成、配布 ・「富山のさかな キトキトフェア」の開催 (平成 25 年 1 月 16 日 ザ・キャピトルホテル東急 (東京)) ・首都圏メディアの取材誘致 等 	<p>水産漁港課</p>
<p>「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (再掲) (10,000 千円)</p>	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣 (富山産業展示館、平成 24 年 11 月 3 日～4 日) 県内外から 34,000 人が来場 ・冬の陣 (氷見市内、平成 25 年 1 月 19 日～20 日) 県内外から 1,800 人が参加 「越中料理と地酒を楽しむ会」には東京・中京から 80 名の団体観光客を誘致 	<p>農産食品課</p>
<p>「越中料理」推進事業 (再掲) (6,055 千円)</p>	<p>新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、食による通年観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実 ・タペストリーの作成、越中料理提供店への配付 ・首都圏で、有名シェフが考案した県産食材をふんだんに使った新たな創作料理を、記者発表を目的とした「発表会」と富山県ゆかりの方を招いた「美食会」を通じてPR 	<p>地域振興課</p>

<p>「美味しい富山」誘客促進事業（再掲） （14,994 千円）</p>	<p>「天然の生け簀 富山湾」の豊富な海の幸を堪能できる「富山湾鮎」キャンペーンを展開し、「食」による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの情報発信 ・富山湾鮎紹介パンフレットの作成 ・旅行予約サイトでのPR 	<p>観光課</p>
<p>歓迎！冬の富山推進事業 （1,617 千円）</p>	<p>富山ー台北便を利用した冬季の誘客強化等を図るため、冬季の着地型観光商品の造成、「親雪・遊雪」観光商品の開発の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 4 件 	<p>観光課</p>

2 戦略的なPR

(1) 大都市圏等に向けた戦略的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
戦略的広告活用・PR事業 (21,500千円)	<p>大都市圏での効果的な媒体を活用したPR展開により、「富山県」の知名度や魅力の認知度向上とともに、本県への誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での大規模広告の実施 使用媒体 JR山手線車体広告の掲出 掲出期間 平成24年6月18日～7月29日 掲出車両数 2編成(1編成=11車両) ・中京圏での大規模広告の実施 使用媒体 スカイメディア(吹き抜け巨大広告)の掲出(JR名古屋駅) 掲出期間 平成24年7月10日～7月16日 等 	観光課
「いきいき富山館」管理運営事業 (70,195千円)	<p>東京アンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナー(物産館)及び展示コーナー(情報館)で企画展や観光・物産キャンペーン等を開催して、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種特産品フェア、実演・試食販売 ・観光展、落語会、写真展 など 	観光課
富山県の物産と観光展の開催 (29,987千円)	<p>大都市圏において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京(平成25年2月7日～13日) 東急百貨店吉祥寺店 ・名古屋(平成25年1月30日～2月4日) 名古屋丸栄 ・埼玉(平成24年12月12日～17日) 伊勢丹浦和店 	観光課
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000千円)	<p>北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施し、本県への誘客や特産品販売の拡大を図った。</p>	観光課

<p>観光PR県市町村タイアップ事業 (11,500千円)</p>	<p>県内市町村と連携し、大規模広告等の効果的な観光PR等を実施し、県内観光地の周遊並びに「富山県」の知名度や魅力の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市営地下鉄(東山線・名城線)車内マルチ広告 掲出期間 平成24年8月1日～31日 掲出車両数 各1編成(1編成=6車両) ・首都圏電車内中吊貸切広告 掲出期間 平成25年3月11日～31日 (3月18日～24日除く) ・TV番組によるPR、観光キャンペーンの実施など 	<p>観光課</p>
<p>新幹線開業プレキャンペーン事業 (19,900千円)</p>	<p>新幹線開業を見据え、首都圏を主なターゲットに、新幹線で結ばれる富山旅行の魅力を強くアピールするキャンペーンを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山手線中吊り広告の掲出 (平成24年9月17日～9月30日) ・宿泊予約サイトでのキャンペーン広告や首都圏及び北陸3県での観光キャラバンの実施 	<p>観光課</p>
<p>「富山県推奨とやまブランド」推進事業(再掲) (14,313千円)</p>	<p>平成22年度に認定した「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定品の魅力を紹介するメディアの取材経費を助成 ・富山空港でのコルトン広告及び展示ブースの設置によるPR ・「とやまブランド」スタートアップフォーラムの開催(平成24年8月31日 富山国際会議場) 	<p>地域振興課</p>
<p>羽田空港フューチャービジョン等観光PR事業 (1,995千円)</p>	<p>羽田空港及び有楽町の映像広告媒体を活用して、富山県内のイベントや観光地を紹介する映像を放映し、首都圏での本県の認知度向上、イメージアップ及び誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港フューチャービジョン 月替わりで12タイトルを放送 ・有楽町ビックマルチビジョン 8月の1ヶ月間及び12月の2週間集中して放送 	<p>広報課</p>

<p>首都圏等での食のブランド力の強化（再掲） （20,509 千円）</p>	<p>大消費地の首都圏等において食のイベントを開催し、富山の食の魅力を県外にアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京アンテナショップにおける P R 販売（4 回） ・「富山の発酵 丸の内トリート」（東京）、「越中とやまうまいもんフェア」（名古屋）の開催 	<p>農産食品課</p>
<p>「うまさ一番 富山のさかな」キャンペーン事業（再掲） （40,332 千円）</p>	<p>首都圏に対して、富山県の水産物と観光・物産等の魅力を P R し、本県の食の魅力の認知度向上と首都圏からの誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山のさかな キトキトフェア」の開催 日時：平成 25 年 1 月 16 日 場所：ザ・キャピトルホテル東急（東京） 内容：富山のさかなを使った料理・富山湾鮭の提供、富山のさかなの魅力紹介、観光の紹介など ・首都圏メディアの取材誘致 など 	<p>水産漁港課</p>
<p>「富山のくすり」販路拡大事業 （711 千円）</p>	<p>（社）富山県薬業連合会が東京アンテナショップにおいて開催した「出会いが効く越中富山のくすりフェア」及び名古屋丸栄百貨店での県物産展へのくすりブース出展を支援し、大都市圏において「くすりの富山」の魅力を発信した。</p> <p>日時：①平成 24 年 11 月 20 日～11 月 25 日 ②平成 25 年 1 月 30 日～2 月 4 日 ③平成 25 年 2 月 26 日～3 月 3 日</p> <p>場所：東京アンテナショップ（いきいき富山館）①③ 名古屋丸栄百貨店 ②</p>	<p>くすり政策課</p>
<p>新幹線開業に向けた P R 活動 （20,674 千円）</p>	<p>北陸新幹線の開業に向け、専用ホームページの運営や普及啓発パンフレットの作成等の P R 活動を実施し、県民機運の醸成を図るとともに、県内外への新幹線開業の周知を図った。</p>	<p>知事政策局</p>

(2) 多様な個人客に向けた的確な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光パンフレット等作成 (5,400 千円)	県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「富山観光マップ」を作成し、観光誘客の促進を図った。	観光課
「旬の富山」観光発信事業 (4,114 千円)	富山の魅力を深く掘り下げたテーマ別観光情報誌「ロカルちゃ！富山」を発行し、個人旅行者の多様なニーズに対応した観光情報を発信した。 ・発行回数 6回(6月・7月・8月・10月(2回)・2月) ・発行部数 各30,000部(Vol.3改訂のみ20,000部)	観光課
「パノラマ・キトキト富山」新聞発行事業費 (3,500 千円)	首都圏を中心に発行する「パノラマ・キトキト富山」新聞(24年4月発行)の制作を支援し、首都圏等からの観光誘客の促進や本県の認知度向上を図った。 ・発行部数 135万部 ・発行地域 首都圏、富山県、石川県	観光課
観光客動態調査事業 (4,704 千円)	観光入込客数統計の基礎データとして、観光客の平均訪問地点数及び観光消費額単価等を把握する「観光地点パラメータ調査」を実施した。 ・調査期間 四半期ごとに1日(年間合計4回) ・調査地点 県内主要観光地10地点 ・調査方法 観光客に対する面接調査	観光課
富山の観光アンケート調査 (3,416 千円)	観光客を対象に、県内の主要観光地の現状評価(強み、弱み)を聞き取った。 ・調査期間 四半期ごとに2日(H24.11、H25.2) ・調査地点 県内及び県外主要観光地、主要宿泊施設 ・調査方法 観光客に対する面接調査及び留置調査	観光課
観光ホームページ等更新事業 (1,000 千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」の内容の充実等により、富山県の魅力を国内外にPRし、観光誘客の促進を図った。 ・既存ページの修正・情報追加 ・新規ページ、バナー等の作成 など	観光課

<p>富山のお土産 P R 事業 (5,000 千円)</p>	<p>新商品開発の意識啓発や県内の土産品の情報収集を行い、H P やパンフレットを活用し情報発信を行った。 ・ H P、パンフレットを作成。作成したパンフレットは、県内の道の駅やサービスエリアを中心に配布</p>	<p>観光課</p>
<p>観光キャンペーン負担金、観光事業振興補助金 (30,859 千円)</p>	<p>(社) 富山県観光連盟が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等への負担金及び補助金の交付。 ・ 一般消費者向け観光 P R 事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・ 旅行代理店向け観光 P R 事業 (エージェント等への出向宣伝、観光説明会 など) ・ 観光 P R 資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など) など</p>	<p>観光課</p>
<p>トヤマ・ジャスト・ナウ (4,051 千円)</p>	<p>県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載するとともに更新情報をメールマガジンで配信し、富山の最新情報をタイムリーに発信することにより、本県への誘客促進等につなげた。 ・ 毎週水曜日に 2 つの記事をホームページ、メールマガジンで配信 ・ 7,500 人に配信 (平成 25 年 3 月現在)</p>	<p>広報課</p>
<p>「富山の港町と海の幸」魅力発信事業 (再掲) (16,000 千円)</p>	<p>「漁港」を切り口として、セリ見学、漁港周辺にある魚販売施設や地魚の食べ処、周辺観光スポットの紹介など、富山のさかなや富山湾に関する一体的な観光 P R 誌を作成し、県内外への P R を展開した。 ・ 作成部数 60,000 部 ・ 仕様 A4 判 16 ページ、フルカラー ・ 内容 富山湾漁港ガイド 漁港周辺の紹介 (氷見漁港など 8 漁港) 厳選グルメ漁港みやげ など ・ 配布先 県内 観光協会、ホテル、旅館等、駅、レンタカー会社、高速道路 S A、道の駅等 県外 県事務所 (東京、大阪、名古屋)、アンテナショップ「いきいき富山館」、首都圏、中京圏の J T B 窓口</p>	<p>水産漁港課</p>

<p>「美女平 天空 ロード」誘い事 業 (100 千円)</p>	<p>県民の皆さんや県外から訪れる方々が、立山により親しみや愛着を持っていただけるよう立山有料道路の愛称「美女平 天空ロード」のリーフレットを作成し、普及啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成部数 10,000 部 	<p>道路課</p>
----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

(3) メディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国内メディア招聘事業 (2,182千円)	<p>全国規模の新聞・テレビ・雑誌等の編集者等を招聘し、取材記事の掲載等を働きかけることにより、パブリシティを強化し、本県への誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBS「Nスタ」、読売テレビ「遠くへ行きたい」、テレビ朝日「秘湯ロマン」の富山県内ロケ など 	観光課
映画を活用した観光PR事業 (3,596千円)	<p>本県が舞台やロケ地となった映画の全国公開に合わせて、映画を活用した観光PRを実施し、本県の魅力の認知度向上と観光誘客の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地マップ、パンフレット等の作成 (映画「あなたへ」、「おおかみこどもの雨と雪」、「脳男」) 	観光課
全国PR事業 (596千円)	<p>共同通信PRワイヤーを活用したリリース配信により、全国に向けて富山県内のイベントや首都圏で開催するイベントの情報等を発信し、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配信本数 16本 	広報課
首都圏PR事業 (5,828千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信等により、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏メディアへのリリース原稿の作成、配信 ・リリース事項に関するプロモーション活動 ・首都圏メディアとのリレーション構築 	広報課
首都圏メディア取材誘致事業 (310千円)	<p>首都圏及び全国に発信すべき本県の重点広報事項(とやまブランド、特色ある施策・事業等)について、大きな露出効果が期待されるメディア掲載企画等に対して協賛又は本県への取材誘致を行い、本県のイメージ・認知度の向上を図った。</p>	広報課
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (6,823千円)	<p>越中富山を舞台として活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内イベント会場等でのPRの実施 ・雑誌やラジオとタイアップしたPRの推進 ・倶利伽羅峠など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	知事政策局

(4) 官民一体、近隣県と連携したPRの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山県・岐阜県 連携広域観光事業 (再掲) (1,000 千円)	東海北陸自動車道を活用した広域観光による富山への誘客を促進するため、岐阜県と連携した共同広告を実施した。 ・旅行雑誌への広告掲出及び協賛 (雑誌 10 万部・フリーペーパー 1 万部)	観光課
北陸三県誘客促進 連携協議会負担金 (再掲) (3,000 千円)	北陸新幹線の開業を見据え、北陸三県及びJRと連携して北陸観光キャンペーン事業を展開し、北陸地域の広域観光の促進を図った。 ・JR 3 社キャンペーンの実施 ・観光素材説明会の開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行など	観光課
北陸広域観光推進 協議会負担金 (再掲) (2,500 千円)	北陸への観光誘客の増大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟からなる協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光課
中部広域観光推進 協議会負担金 (再掲) (3,000 千円)	中部北陸9県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・ハイレベルミッション(北京・広州)への参加 ・JATA旅博2012への出展 ・国際観光振興事業の展開 など	観光課
飛越能経済産業 観光都市懇談会 負担金(再掲) (100 千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・旅行雑誌でのPR ・ロードマップの作成 など	観光課

<p>立山黒部観光宣伝協議会負担金 (再掲) (2,500 千円)</p>	<p>富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・三大都市圏における P R 等の宣伝活動 など 	<p>観光課</p>
<p>(社) 日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200 千円)</p>	<p>市町村からの情報提供等により観光情報を整備するとともに、ホームページ「全国旅そうだん」を通じ発信した。</p>	<p>観光課</p>
<p>「親子で触れ合い ぶり・ノーベル街道再発見ウォーク」負担金 (再掲) (1,000 千円)</p>	<p>ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道 41 号の沿線をウォークし、各地域の魅力を発見してもらう「ノーベル街道体験ウォークツアー 2012」を支援し、ノーベル街道観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年 6 月 17 日 (富山市中心市街地) ・平成 24 年 10 月 7 日 (富山市笹津地区) ・平成 24 年 10 月 21 日 (岐阜県神岡地区) 	<p>観光課</p>
<p>県内スポーツチームと連携した観光 P R 事業 (500 千円)</p>	<p>プロスポーツチーム (富山グラウジーズ) と連携し、選手のユニフォーム等に県の観光ロゴマークを表示してもらうことにより、対外試合等を通じた観光 P R を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>プロスポーツ連携観光キャンペーン事業 (900 千円)</p>	<p>県内プロスポーツチームの県外での試合会場等において、観光キャンペーンや特産品の紹介等を実施し、観光 P R を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カターレ富山」 2 試合 ・「富山サンダーバーズ」 4 試合 	<p>観光課</p>
<p>ディスカバー北陸プロジェクトへの参画 (850 千円)</p>	<p>北陸三県の行政と新聞社が連携して、北陸エリアの地域力向上のために「北陸の W A Z A」をテーマに事業を実施。各県を会場に、キックオフミーティング、親子体験ツアー、アクティブミーティングを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県は親子体験ツアーを担当 ・北陸 3 県の小学生が富山県のふるさとの素晴らしさを学ぶツアーを実施 (9 月 22 日～23 日 (1 泊 2 日)) 	<p>地域振興課</p>

<p>北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600 千円)</p>	<p>北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者向け P R ツール「北陸物語」(冊子版・Web 版)の発行 ・首都圏の交通事業者と連携したイメージアップイベントの実施(2月) ・Facebook「北陸物語」の開設・情報発信 など 	<p>地域振興課</p>
<p>環日本海クルーズ推進協議会負担金(再掲) (1,000 千円)</p>	<p>小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港の港湾管理者及び港湾所在市により「環日本海クルーズ推進協議会」を設立し、環日本海クルーズの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成 ・クルーズ見本市への共同出展(上海、マイアミ)等 	<p>港湾課</p>

3 官民一体、県民こぞってのおもてなし環境の整備

(1) 地域の観光を支える人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来 創造塾事業 (7,039 千円)	北陸新幹線開業に向けて、①おもてなし力の向上、② お客様に満足いただける観光ガイドの育成、③魅力ある 観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 78 名 (内訳) 観光おもてなし入門コース 35 名 観光ガイドコース(中級専攻) 21 名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 10 名 〃 (観光地域リーダー専攻) 12 名	観光課
観光地域リニュー ーアル支援事業 補助金 (699 千円)	専門家による指導により、個性ある観光地域や観光施 設をつくる取り組みを支援し、観光地域のリニューアル を図った。 ・補助件数 1 件	観光課
おもてなし力向 上事業 (804 千円)	観光関係団体や観光ボランティアガイドグループ等 が実施する研修や活動を支援し、おもてなし力の向上を 図った。 ・補助件数 12 件	観光課
観光振興・地域 活性化マネー ジャーの配置 (12,000 千円)	専門的な見地から観光振興事業等を検討・推進する観 光振興・地域活性化マネージャーの黒部市への配置及び その活動について支援し、宇奈月温泉を活用した観光振 興及び地域活性化を推進した。	観光課

(2) 観光産業及び周辺産業の振興・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
歴史と文化が薫る商店街モデル事業 (2,000 千円)	地域に存在する歴史的・文化的資源を活用して行う商店街活性化事業を支援し、地域活性化と誘客促進を図った。 ・補助件数 1 件	商業まちづくり課
観光関連ビジネス連携推進事業 (5,255 千円)	富山県中小企業団体中央会に委託し、異業種組合の連携による新たな組み合わせ商品の開発（3 種類）やアンケート調査を実施した。	商業まちづくり課
外国人観光客等利便性向上事業 (5,799 千円)	今後増加が見込まれる外国人観光客・ビジネス客を商店街等に取り込むため、実践的な研修の開催等を実施した。（富山会場 63 名、高岡会場 95 名参加）	商業まちづくり課
まち歩きモデルコース設定事業 (再掲) (12,047 千円)	駅周辺と商店街の回遊性の向上を図るため、電車まちの 1～2 時間でお店を巡りながら中心商店街を楽しむことのできるコースやメニューを設定した。（3 市 7 コース）	商業まちづくり課
まちの逸品ブラッシュアップ事業（再掲） (15,636 千円)	専門家によるアドバイス支援や、デザインセンターによる試作品開発など、女性が好むお土産づくりのためのブラッシュアップを実施した。（15 品目 21 商品）	商業まちづくり課
まちの逸品チャレンジ支援事業 (再掲) (4,032 千円)	まちの逸品ブラッシュアップ事業で一定の評価を受けた事業者を対象にアドバイザーの派遣や女性ニーズ調査アンケートを実施し、県内のお土産商品力のアップを図った。	商業まちづくり課
まちの逸品 PR キャンペーン事業 (1,006 千円)	まちの逸品ブラッシュアップ事業で選定された商品の認知度向上のための PR キャンペーンについて、企画・準備等を行った。（PR キャンペーンの実施は H25 年 4 月以降）	商業まちづくり課
とやま起業未来塾事業 (19,255 千円)	「夢」「情熱」「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人を育成する「とやま起業未来塾」を開講し、産業の活性化による活力ある県づくりを進めることにより、誘客促進等につなげた。 ・修了者数 22 名	経営支援課

<p>伝統工芸とやま ブランド力向上 支援事業 (3,095 千円)</p>	<p>デザイナーや百貨店のバイヤーなど伝統的工芸品産業のサポート実績のある方を講師として、セミナーと個別相談会を行い、本県の伝統工芸品のブランド力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先 (財) 高岡地域地場産業センター 	<p>経営支援課</p>
<p>農商工連携事業 ブラッシュアップ補助金 (354 千円)</p>	<p>農林水産業や商工業等の枠を超えた連携による効果的な取組みの事業化へ向けたサポートを実施した。</p> <p>(補助先：財団法人富山県新世紀産業機構)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラッシュアップ実績 5社 計11回 	<p>経営支援課</p>
<p>とやまの資源発掘 ブラッシュアップ事業費補助金 (994 千円)</p>	<p>地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用し、新商品や新サービス開発などの事業展開に取り組もうとしている中小企業及び、農林水産業や商工業等の枠を超えた連携による効果的な取組みの掘り起こしや、地域資源を活用する取組みの事業化へ向けたサポートを実施した。</p> <p>(補助先：財団法人富山県新世紀産業機構)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘実績 13件 ・ブラッシュアップ実績 7社 計18回 	<p>経営支援課</p>
<p>旅館施設近代化 等促進事業 (4,771 千円)</p>	<p>宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対して融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）し、宿泊施設の誘客力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資件数 継続分 3件 	<p>観光課</p>
<p>(社)日本観光振興協会負担金 (718 千円)</p>	<p>国や地方自治体、広域観光組織、観光協会、企業や業界団体、他産業等も含めた幅広い連携を図り、観光の持つ力の重要性を広く周知するとともに、魅力ある観光地域づくり、観光人材の育成、観光産業の活性化、旅行需要の拡大等の取組みを行った。</p>	<p>観光課</p>
<p>(財)富山観光物産センター運営費等補助金 (31,071 千円)</p>	<p>富山の観光情報や文化・特産品の発信拠点として富山の魅力を県内外に広くアピールする(財)富山観光物産センターの運営に対し補助を行った。</p>	<p>観光課</p>
<p>(社)富山県観光連盟運営費補助金 (8,708 千円)</p>	<p>富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(社)富山県観光連盟の運営に対し補助を行った。</p>	<p>観光課</p>

(3) 県民の意識醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ふるさと魅力発見PR事業 (5,000千円)	<p>富山の自然、歴史や文化などを学ぶ検定「越中富山ふるさとチャレンジ」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見し、誇りをもって全国にPRする意識の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験者数 1,045名 	地域振興課
富山ふるさとマスター派遣事業 (1,000千円)	<p>学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等にて、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山ふるさとマスター登録者数 14人 ・派遣回数 11回（8名） 	地域振興課
ハローとやま☆貼ろう事業 (1,184千円)	<p>富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 増刷 5,250部（7種類） 新作 750部（1種類） 	観光課
飛越地域等との交流推進事業 (536千円)	<p>飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地域振興を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、この地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、祭りや伝承、匠の技や味等のPR活動を全国や海外に向け展開した。</p> <p>（協議会の主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域内で交流・連携活動を行う民間団体等への助成（6件） ・飛越地域への海外誘客の促進 	知事政策局
新幹線戦略とやま県民会議の設置・運営 (7,661千円)	<p>北陸新幹線の開業効果を最大限に活かし、観光の振興や交流の促進、産業の振興、賑わいの創出につながる対策が効果的に展開されるよう、官民の代表者で構成される「新幹線戦略とやま県民会議」において、戦略の協議・決定、推進を図った。</p>	知事政策局

<p>新幹線開業に向けたPR活動 (20,674千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業に向け、専用ホームページの運営や普及啓発パンフレットの作成等のPR活動を実施し、県民機運の醸成を図るとともに、県内外への新幹線開業の周知を図った。</p>	<p>知事政策局</p>
<p>新幹線開業2年前イベント (18,344千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業2年前となるH25年1月～3月にかけて、新幹線駅が設置される県内3か所において、開業2年前イベントを開催し、県民機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25.1月 富山会場（富山市） ・H25.2月 新川会場（黒部市） ・H25.3月 県西部会場（高岡市） 	<p>知事政策局</p>
<p>新幹線の県民利用意向等調査 (4,251千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業に向けた官民の効果的な取組みを推進するため、県民の北陸新幹線の利用意向や目的、現状の行動等を把握するアンケート調査を実施し、広く調査結果の周知を図った。</p>	<p>知事政策局</p>
<p>世界遺産登録推進事業（再掲） (4,500千円)</p>	<p>「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録に向け、民間団体が行う事業やイベントを支援し、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発活動やフォーラム、講演会、現地見学会の開催等 	<p>知事政策局</p>
<p>歴史と文化が薫るまちづくりモデル支援事業（再掲） (56,110千円)</p>	<p>歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域で実施するまちづくり事業に対して支援し、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区 高岡市、魚津市、氷見市、黒部市、南砺市、富山市、砺波市、小矢部市、滑川市、上市町、立山町、朝日町 	<p>地域振興課</p>
<p>水辺のまちづくり推進事業（再掲） (6,600千円)</p>	<p>「水の王国とやま」の豊かな水資源を活かした、水辺のまちづくりに取り組む市町村・市民活動を支援し、地域の新たな魅力の創出、地域への誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千保川親水・楽水プロジェクト事業（高岡市） ・庄方用水沿い桜並木整備事業（高岡市） ・魚津の水循環事業（魚津市） <p style="text-align: right;">ほか3件</p>	<p>地域振興課</p>

<p>ふるさと資源パワーアップ事業 (再掲) (2,927 千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業を見据え、地域住民が地域資源を活用し、主体的に取り組む活動等を支援し、地域の新たな魅力の創出、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡食のブランド推進事業 ほか 4 件 	<p>地域振興課</p>
<p>「とやま食の匠」の認定・普及 (再掲) (752 千円)</p>	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理について、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、学校、企業、地域住民、市町村等からの依頼に応じて講師として派遣することなどにより、卓越した知識や技能の普及とともに、富山の食の魅力の再発見、再認識を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定 11 個人・団体 (計 165 個人・団体) ・講師派遣 49 回 	<p>農産食品課</p>
<p>高志の国文学館 管理運営費 (326,677 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客にとって、富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館を開館し、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高志の国文学館開館記念式典、開館記念イベントの開催 ・開館記念企画展 (3 回) ・ふるさと文学県民講座等の開催 (12回) 	<p>文化振興課</p>

(4) 受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅観光案内 所運営事業 (2,868 千円)	本県の玄関口である富山駅の構内に富山県と富山市で共同の観光案内所を設置し、富山県全域の適切な観光案内や情報発信を行うことにより、観光客の利便性の向上を図った。	観光課
観光案内ステーション設置事業 (1,300 千円)	本県を訪れた観光客が快適で楽しい旅行ができるように、県内のガソリンスタンド、ドライブイン、道の駅、ホテル・旅館等に各種観光パンフレットの提供等を行う観光紹介コーナー等を設置し、観光客の利便性の向上を図った。 ・設置件数 67 件	観光課
国際観光施設等 魅力アップ支援 事業 (1,030 千円)	県内のホテル旅館等の観光施設が行う外国人観光客の受入体制整備（無線LANの整備、多言語パンフレットの作成など）を支援した。 ・補助件数 6 件	観光課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (4,913 千円)	観光客の入り込み増加や利便性の確保を図るため、道の駅に広域観光案内標識を設置するとともに、市町村が行う観光地誘導案内標識の多言語化を支援した。 ・広域観光案内標識 設置件数 3 件 ・外国語観光サイン整備 補助件数 新規 14 件 改修 2 件	観光課
宇奈月国際会館 運営費補助金 (19,500 千円)	本県を代表する観光地の一つである宇奈月温泉に立地するコンベンション施設「宇奈月国際会館」の運営費の一部を助成した。	観光課
富山空港コンシェルジュ配置事業 (12,013 千円)	富山空港の利用者に対し、案内・誘導や介助など懇切・丁寧なサービスを提供する「富山空港コンシェルジュ」を配置し、富山空港の利用促進を図るとともに、空港を利用する観光客の受入環境の整備・充実を図った。 ・配置人員 7 人	総合交通政策室

<p>自然公園等整備 事業等 (35,866 千円)</p>	<p>わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために散策路の整備等を実施し、観光客の利便性の向上などを図った。</p>	<p>自然保護課</p>
<p>有峰森林文化村 推進費 (55,681 千円)</p>	<p>豊かな森林を有し、多くの人々が訪れる風光明媚な有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、利用者が安心して施設利用等ができるよう施設整備（保守点検）等に努めた。</p>	<p>森林政策課</p>
<p>わくわく観光標 識整備事業 (28,320 千円)</p>	<p>主要観光地付近の県管理道路に、観光地の写真を載せた道路案内標識や、新たに設置された公共施設への案内標識を設置して、観光客の利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真付き案内標識設置数 6 基 ・公共施設案内標識設置数 9 基 	<p>道路課</p>
<p>外国船入港に係 る歓迎セレモニ ーへの支援 (3,000 千円)</p>	<p>港湾振興会等が開催する入港歓迎式典等に係る費用の一部を助成した。</p>	<p>港湾課</p>
<p>県立都市公園の 整備・改修 (260,889 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 富岩運河環水公園（照明の LED 化、デッキ修繕等） 県民公園 太閤山ランド（プールの塗装 等） 総合運動公園（大型映像装置電源部の改修） 空港スポーツ緑地（テニスコートの改修） 五福公園（野球広場の改修） 	<p>都市計画課</p>
<p>県立都市公園の 維持管理 (1,003,119 千円)</p>	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園 <ul style="list-style-type: none"> 富岩運河環水公園、県民公園 太閤山ランド、総合運動公園、常願寺川公園、県民公園 新港の森、岩瀬スポーツ公園、五福公園、空港スポーツ緑地、県庁前公園 	<p>都市計画課 環境政策課</p>

(5) 二次交通の確保・利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山らくらく交通ナビ事業 (2,999 千円)	インターネットなどによる公共交通の一元的な乗継情報システムにより、県外観光客でも気軽に電車、バス等を利用できるよう、公共交通機関による目的地までの経路、乗継、運行時刻などを分かりやすく案内する「富山らくらく交通ナビ」を運用し、観光客の利便性の向上を図った。	総合交通政策室
乗りたくなる公共交通推進事業費 (3,132 千円)	交通事業者が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み（車両のラッピング など）を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 5 件	総合交通政策室
新幹線アクセス路線バス等調査支援事業 (1,589 千円)	新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等へのバスルートの新設、既存バスルート・ダイヤの見直し等に係る調査事業に対し支援した。 ・補助件数 2 件	総合交通政策室

4 国際観光の推進 ～ビジット・とやま・キャンペーンの展開～

(1) 東アジアからのリピーター確保、通年の魅力発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
中国・台湾観光 プロモーション 事業 (16,885 千円)	中国北京市・広州市と台湾台北市において、現地旅行会社、マスメディア等を対象に観光説明会を開催し、知事より富山の観光資源をPRするなど観光プロモーションを実施した。	観光課
観光客誘致促進 事業 (9,800 千円)	中国、韓国、台湾、香港、東南アジア及び欧米・豪州を対象に観光宣伝事業や旅行会社等に対する招聘事業を行い、観光客の来訪促進を図った。	観光課
観光客誘致広告 支援事業 (7,974 千円)	中国、韓国、台湾等の旅行業者等が企画・催行する富山県向け旅行商品の広告を支援し、観光客の来訪促進を図った。 ・補助件数 7件	観光課
台湾における物 産と観光展の開 催 (7,896 千円)	台湾嘉義市および高雄市の新光三越において、観光地の魅力を紹介する観光物産展を開催し、知名度の向上と特産品の販路拡大を図った。 ・開催期間 平成24年12月17日～25日	観光課
富山ー台北便活 性化誘客推進事 業 (19,929 千円)	台北ー富山便を利用する富山ツアーを請負った旅行会社を支援し、観光客の来訪促進を図った。 ・対象人数 往復利用437名、片道利用3,092名	観光課
富山ー台北便応 援キャンペーン 事業 (5,687 千円)	冬季の富山ー台北便の利用を促進するため、旅行会社の招聘や、チャイナエアライン台北支社前での観光PR広告を行った。	観光課
歓迎！冬の富山 推進事業(再掲) (1,617 千円)	富山ー台北便を利用した冬季の誘客強化等を図るため、冬季の着地型観光商品の造成、「親雪・遊雪」観光商品の開発の支援を行った。 ・補助件数 4件	観光課
冬季台湾観光案 内サポーター設 置事業 (465 千円)	冬季の誘客を図り、台湾出身の観光案内サポーターを設置し、中国語(繁体字)での情報発信を行うとともに観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光課

上海便活性化旅行商品販売促進事業 (6,383 千円)	上海－富山便を利用した富山ツアーの催行に対して中国の旅行会社を助成した。また、上海－富山便を利用したモニターツアーを実施し、観光客の来訪促進を図った。 ・助成本数、対象人数 23 本、667 名 ・モニターツアー 1 本	観光課
上海戦略的広告活用事業 (2,301 千円)	上海市等の旅行雑誌、旅行会社ホームページに富山県の観光地を P R する広告を掲載し、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。 ・雑誌広告 7 社 ・インターネット広告 1 社	観光課
中国（広州）国際旅游産業博覧会（C I T E）出展事業 (1,600 千円)	中国（広州）国際旅游産業博覧会（C I T E）に出展し、本県の豊富な観光資源を広く紹介することにより、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。 ・開催期間 平成 24 年 9 月 14 日～18 日 ・開催場所 中国 広州市	観光課
香港誘客促進 P R 事業 (1,997 千円)	香港の雑誌 2 誌に富山県の観光地を P R する広告を掲載し、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。	観光課
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800 千円)	石川県、福井県と北陸国際観光テーマ地区推進協議会を組織し、海外での旅行博への出展や旅行会社の招聘等を通じ、外国からの観光客の来訪促進を図った。	観光課
富山県大連事務所拠点 P R 事業 (269 千円)	富山県大連事務所を活用し、観光 P R コーナーの設置や現地旅行会社への訪問などの恒常的な P R 活動を行い、観光客の来訪促進を図った。	観光課
中国教育旅行誘致事業 (1,122 千円)	本県と直行便で結ばれている北京・大連・上海などの教育旅行関係者を招聘し、教育旅行の誘致、ひいては将来のリピーターや富山ファンづくりを図った。	観光課
NEAR 出展事業 (450 千円)	NEAR(ものづくり見本市)2012 の開催に伴い、同会場で富山県の観光を P R し、海外観光客の誘致を図った。	観光課
韓国通年誘客 P R 事業 (1,412 千円)	韓国テレビ局の番組撮影に協力し、本県の冬の魅力をテーマとした特集番組を韓国で放映することにより、誘客の増加を図った。	観光課

<p>中部広域観光推進協議会負担金 (再掲) (3,000 千円)</p>	<p>中部北陸 9 県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源の P R 等を行い、広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベルミッション（北京・広州）への参加 ・J A T A 旅博 2012 への出展 ・国際観光振興事業の展開 など 	<p>観光課</p>
<p>(独) 国際観光振興機構負担金 (720 千円)</p>	<p>(独) 国際観光振興機構 (J N T O) と連携して旅行者やマスメディア等の招聘などを行い、外国人旅行者の来訪促進を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>大連事務所運営費 (17,205 千円)</p>	<p>富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点にし、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「MA-TSU-RI2012 (大連)」、「天皇誕生日祝賀レセプション (北京)」等での観光 P R 活動 ・旅行会社等との面談、情報収集・提供、P R 等 	<p>国際・日本海政策課</p>
<p>農林水産物海外市場開拓事業 (4,000 千円)</p>	<p>県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外に向けて県産農林水産物の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港、台湾、中国、シンガポールの食品バイヤーとの県内商談会の開催 ・香港、シンガポールへの県産農林水産物トライアル輸出 など 	<p>農林水産企画課</p>
<p>飛越地域等との交流推進事業 (再掲) (536 千円)</p>	<p>飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地域振興を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、この地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、祭りや伝承、匠の技や味等の P R 活動を全国や海外に向け展開した。</p> <p>(協議会の主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやホームページによる P R ・飛越地域内で交流・連携活動を行う民間団体等への助成 (6 件) ・飛越地域への海外誘客の促進 	<p>知事政策局</p>

(2) 新規市場に向けた効果的な情報発信

事業名 (事業者)	実施状況	担当課
欧米豪観光客誘致促進事業 (2,800 千円)	高山市、日本のふるさとを守り育てる飛越協議会（飛騨市、白川村）と共同で、欧米豪向けWEBサイトに観光情報を掲載したほか、豪州での現地広告などを実施し、当該地域からの誘客を図った。	観光課
東南アジア観光客誘致促進事業 (8,721 千円)	訪日旅行者が急速に増加している東南アジアにおいて、現地プロモーション活動を行った。 ・タイ・バンコク観光説明会の開催（平成 24 年 12 月 14 日）：知事によるトップセールス ・タイ・トラベルフェア（TITF）出展（平成 24 年 8 月 16 日～19 日、平成 25 年 2 月 14 日～17 日） ・シンガポール新聞広告の掲載（平成 25 年 2 月） ・マレーシア・トラベルフェア（MATTA）出展（平成 24 年 9 月 7 日～9 日、平成 25 年 3 月 15 日～17 日）	観光課
欧米PR広告事業 (819 千円)	欧米での知名度向上及び観光客誘致の一環として、富山湾鮭の英語版パンフレットを作成し配布するとともに、WEBページで発信した。	観光課
富山県オレゴン州紹介展示事業 (400 千円)	オレゴン州で開催された日本関連イベント等において、富山県を紹介するパネルやポスターを展示し、本県の観光資源について広くPRを行った。	国際・日本海政策課
海外クルーズ見本市への出展 (680 千円)	中国・上海、米国・マイアミで開催されたクルーズ見本市に出展し、伏木富山港及び本県の豊かな観光資源について広くPRを行った。	港湾課

(3) 個人対応の情報発信と受入体制の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際観光施設等 魅力アップ支援 事業(再掲) (1,030千円)	県内のホテル旅館等の観光施設が行う外国人観光客の受入体制整備(無線LANの整備、多言語パンフレットの作成など)を支援した。 ・補助件数 6件	観光課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業(再掲) (4,913千円)	観光客の入り込み増加や利便性の確保を図るため、道の駅に広域観光案内標識を設置するとともに、市町村が行う観光地誘導案内標識の多言語化を支援した。 ・広域観光案内標識 設置件数 3件 ・外国語観光サイン整備 補助件数 新規14件 改修2件	観光課
外航クルーズ誘 致推進事業 (664千円)	クルーズ乗船客の満足度を高めるため、岸壁に観光案内所・物販販売コーナーを設置した。 ・実施回数 2回	観光課
とやま名誉友好 大使の委嘱 (475千円)	外国人の本県在住経験者を「とやま名誉友好大使」に委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・委嘱数 34人 (全体1,302人委嘱)	国際・日本 海政策課

5 コンベンションの誘致促進

(1) コンベンション開催環境の周知と営業活動の強化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション 誘致宣伝事業 (1,424千円)	関係者を対象とした誘致説明会及び主催者を招聘しての現地説明会を開催し、富山県の優れたコンベンション開催環境の周知を図った。 ・誘致説明会 2回 平成24年10月9日(富山) 平成24年12月11日～12日(東京) ・現地説明会 1回 平成25年3月21日～22日(富山)	観光課
誘致訪問活動 (704千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンション開催の誘致促進を図った。	観光課
コンベンション 誘致促進事業 (2,426千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。また、コンベンション開催会場において、運営補助を行なうスタッフを配置するとともに、観光案内等を行うインフォメーションコーナーを設置した。	観光課
コンベンション 連絡調整会議の 開催 (9千円)	コンベンション連絡調整会議を開催し、コンベンション施策等について関係市等と意見交換を行い、コンベンション誘致体制及びネットワークの強化を図るとともに、施策の充実を図った。 ・開催回数 4回 ・構成 県、(財)富山コンベンションビューロー、富山市、高岡市、射水市、魚津市、黒部市、砺波市、氷見市、南砺市、入善町	観光課
(財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,573千円)	(財)富山コンベンションビューローが実施するコンベンションの誘致及びコンベンション主催者に対する支援等の活動経費に対し補助を行った。	観光課
コンベンション 指導情報提供業 務委託事業 (5,000千円)	主催者等に対し、県内のコンベンション施設や観光資源等について情報を提供した。	観光課

<p>「富山で合宿！」誘致事業 (9,142千円)</p>	<p>県外の大学、短大、高校等が県内で行うクラブ、サークル等の合宿に係る費用の一部を助成し、富山県への合宿の誘致促進を図った。</p> <p>・補助実績 46団体</p>	<p>地域振興課</p>
-----------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	--------------

(2) コンベンション開催に向けた支援の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学会等開催補助金 (9,700千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 18件	観光課
コンベンション誘致・運営サポート事業 (6,367千円)	コンベンション運営サポーターを配置し、コンベンション誘致活動を行うとともに、コンベンション開催に係る助成制度の案内や制度利用に係る支援を行った。	観光課
富山国際会議場運営費補助金 (120,560千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光課

(3) アフターコンベンション等の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション 歓迎気運醸成事業 (3,901千円)	コンベンション開催を告知するポスター等を市街地や商店街で掲示し、地域住民等に開催誘致について理解を深めてもらうなど、コンベンションの歓迎気運の醸成を図った。	観光課
コンベンション タクシー助成事業 (863千円)	<p>県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援するとともに、口コミによる本県のPRを図った。</p> <p>あわせて、タクシードライバーを対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、利用者に適切な観光案内を行うおもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 102件 ・観光ガイドドライバー養成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> 平成24年7月24日 参加者26人 平成24年7月25日 参加者22人 	観光課